

研修ハンドブック 2006 年春

Safe Horizon,
Training and Development Division

目次

CEOのご挨拶	3
研修登録書式	4
登録手続き	5
研修コースを選ぶには	6
研修詳細： 受講の場所、受講日と時間、交通アクセス	8
常勤職員に必要な研修	9
推奨される研修コース	10
各研修コースの解説	
直接的な支援サービス	11
ドメスティックバイオレンス研修シリーズ	15
職場での支援	19
コンピュータ研修	21
研修講師の紹介	23
日程カレンダー	28

CEO のご挨拶

Gordon J. Campbell

Safe Horizon 研修の新学期が、新たな開催地 (50 Court Street、Brooklyn NY) を得て始まることを喜ばしく思う。学習は、組織としての私達の成功と、各職員の専門能力開発に不可欠である。私としては全職員に対して、この学期中に 1 つ以上の研修を履修するようにお勧めしたい。

昨年、私達は、私達の Training Department の活動を専ら Safe Horizon 職員に注力するという戦略的意思決定を下した。Curriculum Review Groups が、「自殺介入」、「ドメスティックバイオレンス入門」、「ドメスティックバイオレンスの児童への影響」の各ワークショップを向上させ、更新するために活動した。今こそ、研修を未履修の人や、スキルや知識を一新するために研修を再履修したい人にとって、研修に参加する絶好の機会である。

カリキュラム修正に加えて、本年は新しい研修コースも加わった。「対立管理入門」は、クライアント間と同僚間の双方の対立を管理する戦略を授けてくれるだろう。「私達の家。レスビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーにおける家庭内暴力を理解する。」は、多彩なドメスティックバイオレンス被害者グループとの連携における役割遂行能力の育成に役立つだろう。また、HIV Confidentiality (HIV の守秘義務) によって、貴方はニューヨーク州の HIV Confidentiality Law 順守を徹底できるだろう。

ニューヨーク州から私達の IT 部門に支給された助成のおかげで、本学期はコンピュータ研修も開講できることになった。

私はひとりひとりの職員に対して、このチャンスを学習継続のために最大限生かしてほしいと願っている。この研修ハンドブックを一読して、すぐに受講を登録してほしい。

Gordon J. Campbell

署名

研修登録書式

Information and Technology Department(IT 部門)と共同で、Training Division(研修部)は、以前のものより簡単で迅速、かつ、信頼性の高い登録方法を開発した。

長所：

1. 自分の提出した書式が現時点で誰のデスク上にあるか (誰かのデスクにまで達しているのであれば)を推測したり、ゴミ箱の中を探し回る手間もなく(！) 提出した書式の処理状況を追跡調査できる。
2. 研修登録書式の使い方はますます簡単になった。コンピュータのマウスを一度クリックするだけで、書式を開いて記入することができるようになった。
3. 書式の提出も”**Submit to Supervisor**(監督者宛に提出)”ボタンを一度クリックするだけでよい。システムが自動的に、本来の宛先である者宛に願書を送付し、各段階においてシステムが、願書の提出された日付を追跡調査する。

登録手続き

研修登録書式は、インターネット上の Functions リンクにある。

登録書式の記入方法：非常に簡単

1. Safe Horizon イントラネット にアクセスする。
2. イントラネットの右側フレーム下にある“**Functions**”のアイコンをクリックする。
3. “**Training Registration**”リンクをクリックする。
4. “**Add A New Training Registration Request**”リンク。書式記入を完了する。全ての欄を記入しなければならない。必ず、“**Approval Supervisor**”欄に貴方の監督者の指名を記入すること。
5. “**Submit to Supervisor**”ボタンをクリックする。

承認プロセス：

1. “**Submit to Supervisor**”ボタンをクリックすることによって、貴方の記入した書式は貴方の監督者に直接送付される。監督者が“**Approve**(承認)”“**Reject**(拒否)”のどちらのボタンを押す。

承認された場合には、書式は Training Department に送られる。

拒絶された場合には、書式は貴方に返却される。その場合、書式の“**Comments**”欄の監督者のコメントに基づいて、書式の記入内容を変更しなければならない。

2. 貴方の提出した「**研修登録書式 (“Training Registration Form”)**」の処理状況を確認するには、イントラネットにアクセスし、“**Functions**”をクリックし、次に“**Training Registration**”をクリックし、“**View Your Existing Training Registration Request(s)**”リンクをクリックして貴方の願書の処理状況を確認する。

注： 授業科目は変更される可能性がある。変更があった場合には、貴方と貴方の監督者宛に電子メールですぐに通知される。

研修コースを選ぶには

職員：

1. 選択科目を履修登録する前にまず、必須科目の研修を履修完了する。必須研修コースのリストについては、9 ページを参照のこと。
2. 各学期につき最高 4 つの研修コースを履修登録する。(雇用後最初の学期に最高 5 つの研修科目に出席しなければならない直接支援サービス担当の新スタッフは例外。)
3. 貴方の監督者から、研修登録書式プロセスを通じて研修出席に対する承認を受領する。
4. 専門能力の開発とクライアントとの連携を向上させ、責務の目標を達成するために、研修コースを活用する。

監督者：

1. 新しい職員が必修科目に必ず履修登録するよう確認する。研修コースを通じて、職員の専門能力開発と仕事の目標を指導する。特定の研修履修の成果として、貴方が彼らについて期待していることについて話し合う。
選択科目履修計画に関して、職員を支援する。
各学期につき最高で 4 つの研修コースの履修を承認する。
2. 職員の研修履修登録書式を承認する前に、職員の履修登録と職務の対象範囲を追跡調査する。
3. 研修履修登録書式を”承認”する。あるいは、”Reject”ボタンを押すことによってこれをコメント付きで職員本人に返却する。

職員は以下に対する責任を負う：

1. Training Department から履修登録の確認を受け取った研修コースに出席する。このことは、適切なクラスのサイズを確保し、(キャンセル待ち名簿から補充できるはずの)欠員を防ぐ上で特に重要である。
2. 自分の研修コースに出席するために、自分の職務の対象範囲に備えて計画をたて、自分の監督者にこの計画について報告する。
3. 緊急の場合の取消手続きの後 取消手続きを実行しないままだと、貴方の出席簿に”no show(欠席)”と記され、追跡調査の依頼とともに、この記録が貴方の監督者に送付される。

監督者は以下に対する責任を負う：

1. 研修に出席する職員を支援し、研修履修のためにスタッフの時間と仕事の管理を指導する。
2. (研修出席のために)職場を離れている間も、職員が確実に自分の職務の対象範囲を把

握できるように、上司として努力する。貴方の部下の職員が研修から最大限の恩恵を受けられるように、部下の職員の学習を、**緊急時**を除き、**中断しない**ように私達は監督者に要請している。職員には、各 15 分間の休憩時間 2 回と、1 時間の昼食時間しか与えられていないことをお忘れなく。

3. 出席日次報告を点検する。
 - i. “欠席”または“取消”について職員本人に事情を問いただす(フォローアップ)。
 - ii 研修コース終了 2 週間以内に職員が完成させる、学習の転移としての”行動計画”を監督・点検する。貴方と貴方の職員との間の研修に関する対話が、研修で学んだスキルと知識が実際に業務に生かされることを確認する上で**非常に重要である**。

取消(キャンセル)手続き :

取消(キャンセル)は、緊急時と差し迫った不可避の紛争時を除いて、お勧めしない。

1. 研修開講前に**可能な限り早期に**training@safehorizon.org宛に電子メールで連絡し、その写しを貴方の監督者に送付し、取消の理由を明記する。これにより、貴方の代わりにキャンセル待ちをしていた者が受講することが可能になり、しかも、取消の背景となった潜在的な傾向を理解することが可能になる。
2. 個人的な緊急事態(たとえば急病)が発生し、電子メールが使用できない場合には、Conference Center (718-360-9817)に、キャンセルしたい研修当日の午前 9 時 30 分までに電話連絡すること。
3. 上記の取消手続きを実行しないままだと、貴方の出席簿と出席日次報告に”no show(欠席)”と記され、この日次報告は貴方の監督者と Leadership Team 宛に送付される。

研修詳細：受講の場所、受講日と時間、交通アクセス

Safe Horizon Conference Center

住所：

50 Court Street 8th floor

Brooklyn NY 11201 (Joralemon & Livingston Streets の間)

* 貴方の Safe Horizon ID を、建物に入館前に警備員に呈示すること。

メールアドレス：training@safehorizon.org

電話：718-360-9817

時間： 9:00 am: 受付、コーヒータイム

9:30 am: 研修開始

4:30 am: 研修終了

注：

遅刻は、貴方の監督者に知らせるために、職場に通報される。

未登録の受講者は、クラスが満員の場合には、職場に行かされる可能性がある。

Conference Center のドアは **9.00am** に開く。

交通アクセス：

地下鉄を使う場合

2,3,4 または 5 Train に乗り Borough Hall で降りる。または、A,C または F Train に乗り、Jay Street で降りる。または、N,R Train に乗り Court Street で降りる。

バスを使う場合

B25, B26, B37, B38, B41, B45, B 51, B52 のバスに乗り、Court Street と Joralemon Street で降りる。

Training Center 内では携帯電話を使用できない。

常勤職員に必要な研修

	直接支援サービスを担当の職員	管理/事業担当職員
雇用後初の学期	1. Safe Horizon の紹介 2. 援助スキル：2 日間 3. 児童虐待 4. 自殺予防 5. 選択科目コース関連の作業	1. Safe Horizon の紹介 2. 管理経営研修 3. 業務関連の直接支援サービス研修
雇用後 2 度目の学期	1. ストーカー行為の力学 (人選) 2. 多文化理解能力	1. 職場の多様性

よくある質問

1. 「私には、必修コースの実用的知識が十分にあると思うのですが、どうすべきでしょうか？」

この件について貴方の監督者と話し合い、貴方の職歴やこれまでの研修経験を根拠として今回の履修必修を免除することに監督者が同意すれば、その旨を電子メールで、Training and Staff Development 所属の Associate Vice President の Kristen Illes (killes@sfaehorizon.org)宛に通知していただきたい。すると、貴方の HRIS (Human Resource Information System)の記録には、コース履修免除が記される。

ホットライン担当の職員は、上記研修コースの履修を一部免除される。これは彼らが体験学習を経験しているからである。Corey Tax と相談すること。

その他の疑問点は次のアドレスまでお願いします。

training@safehorizon.org

推奨される研修コース

職場の多様性 (Workplace Diversity) は全ての管理/事業担当職員にとって必修コースであり、全ての直接支援サービスを提供する職員向けに推奨される。

研修は、職員の専門家としての新しい知識とスキルの取得支援を目的としている。

コース一覧と必修科目を検討して、どのコースを必修科目として履修する必要があるかと、どの科目を選択履修科目として履修したいかをについて監督者と話し合ってもらいたい。自分の研修コース一覧に優先順位を付けて、翌年向けに自分の専門能力開発計画を立てていただきたい。

注： 採用後 1 学期よりも長い期間が経過している職員が各学期につき履修可能な研修科目数は、最高で 4 科目とする。

直接的な支援サービス向けの研修

最新版

児童虐待

開講日：2月28日または5月9日

講師：Tisa Joyner Nance

開講時間：9:00~4:30

児童虐待の評価（アセスメント）は、専門家にとって最も難しい責務のひとつである。この研修は、報告義務のある職務の者を支援し、児童虐待の識別と報告について解説することを狙いとしている。研修生は、児童虐待とネグレクトの定義、虐待のあらゆる形の行動指標と物的指標の認知、適切な当局への報告とクライアントとの間に築かれた人間関係を損なうことなくフォローアップする方法を学習する。これは直接的な支援サービス担当の職員全員にとって必修科目である。MSW licensure を必要とする職員むけの証明書も発行される。

児童の性的虐待

開講日：4月11日

講師：Denise Briaes

事前必修科目：児童虐待

開講時間：9:00~4:30

児童に対する性的虐待は、以前は非常に稀であると考えられていたが、現在では報道や全国の犯罪統計上でも目立ってきている。私達は、児童に対する性的虐待の力学を探り、「沈黙の申し合わせ」と社会の思い込みが、どのようにこの虐待を覆い隠す可能性があるかを考察する。対話型の取組みを通じて、このコースでは、児童への性的虐待に対処する上での自分の役割を明らかにする。この研修は識別と評価（アセスメント）とスキル向上を重視し、現場で使用できる実用的ツールを提供する。

児童、トラウマおよび悲嘆：どのように助けるか

開講日：4月26日~4月27日(2日間)

講師：Carrie Epstein

開講時間：9:00~4:30

この2日間にわたる研修は、精神的外傷をもたらすような死別の際の子供たちとその世話をする者の特別なニーズを重視し、特に9月11日の同時多発テロに対応して準備された。

この研修は、精神的外傷をもたらすような死別を識別する方法、ならびに、子どもの年齢や発達段階に応じた潜在的な影響を理解する方法を教える。研修生は、このような子供達やその世話をする者と共に効果的に働きかける方法を学ぶだろう。子供達とのコミュニケーション方法や、家族制度に関連した子供達のニーズ評価に関するスキルが身につくだろう。この研修カリキュラムは、Hasbro's September 11th Children's FundとNew York Times National Philanthropic Fundからの助成を受けた。

多文化理解能力

開講日：5月31日

講師：Tisa Joyner Nance

開講時間：9:00~4:30

ニューヨーク市は、国全体と比べ、民族や人種の構成が非常に多種多様である。このため、ニューヨーク市で多数派と呼べる人種や民族のグループは存在しない。このワークショップは、この多様性に富んだ市民層を助ける上での能力を向上させる。参加者は、文化的相違と文化的評価を乗り越える方法を学習して、多文化を理解できるスキルと戦略を発展させることができるだろう。このワークショップは、文化や信条が支援関係に及ぼす影響も含めて、文化的相違の力学を探求する。参加者はまた、社会文化的障壁を識別し、これを最小限に抑え、かつ、文化アセスメントツールの使用方法を実践するための幅広い取り組みを学習する等、実際の経験を積むこともできる。これは、2003年9月以降に雇用された直接的支援サービス担当の職員全員にとって必修科目である。また、犯罪被害者に働きかける全ての職員に推奨される。

援助スキル

開講日：6月29~30日

講師：Tisa Joyner Nance

開講時間：9:00~4:30

この2日間のコースは、直接的支援サービス担当の新規職員全員のスキルの一層の強化をめざしている。職員は、支持的環境における援助スキルの基本原則を学習し、体験する。このワークショップは、エンゲージメントの技術、カウンセリングのスキル、評価（アセスメント）と照会、部外秘のコミュニケーション、目標設定の基本コンセプトを概説し、これらを実習する機会を提供する。2日間の両日に出席しなければならない。これは、直接的支援サービス担当の職員にとって必修科目である。また、クライアントに働きかける上で使用されるスキルを一新したいと思う者にとって、お勧めの科目である。

新講座

HIV に関する守秘義務

開講日：3月17日

開講時間：9:00~12:30

この3時間のコースは、ニューヨーク州の HIV Confidentiality Law (Public Health Law Article 27-F)に関する情報提供をめざしている。この法律の特別な要求条件を学習する(法律の基本要素、法律の趣旨、守秘義務に関するルール、開示と署名された公表内容、法律違反に対する罰則と制裁、文書記録と記録管理など)。このコースは、Legal Action Center が、New York State Department of Health AIDS Institute と協力して開発した。このコースは職員全員の履修が推奨される。

改訂版

自殺介入

開講日：6月8日

講師：TBD

開講時間：9:00~4:30

ドメスティックバイオレンス・性的暴力・児童虐待などの虐待を体験した人は、自殺するリスクが一般人より高いことを、多くの研究者が認めている。自殺介入は、これまでの人生で暴力を体験してきたクライアントと直接関わる者にとって極めて重要なスキルである。この研修に参加することで、自殺リスクの識別と評価技術を向上させ、Safe Horizon の方針を順守させ、適切な介入実施が可能になるだろう。これは、直接的支援サービス担当の職員全員にとって必修科目である。

人身売買：現代の奴隷制度

開講日：4月13日

講師：Florrie Burke

開講時間：9:00~4:30

2001年以降推定400万人もの男女と児童が世界中で、自らの意思に反して奴隷のような状態で売買され、移送され、拘束されている。この研修は、専門家に対して、人身売買の心理的力学と政治力学を概説している。これにより、人身売買の識別方法、被害者のためのリソースへのアクセス方法、ならびに、サービス提供のための戦略へのアクセス方法を習得できよう。この研修は、直接的支援サービス担当の職員全員に強く推奨される科目である。

成人サバイバーへの対応

開講日：4月20日

講師：Corey Tax, Christine Vargo

事前必修科目：児童虐待

開講時間：9:00~4:30

この上級コースは、「性的暴力の概説」で学習する情報とスキルを基盤としている。「成人サバイバーへの対応」は、近親相姦や児童期の性的虐待のサバイバー特有の問題を考察する。この科目の後半では、何らかの性的虐待のサバイバーへの働きかけにおけるスキルと介入の技術に、一層注力する。このコースは、セルフケアの重要性も明らかにする。

殺人事件遺族への働きかけ

開講日：6月6日

講師：Vilma Torres, Kimmi Herring

開講時間：9:00~4:30

愛する者を殺人で失った衝撃は、残された者を肉体的にも、感情的にも、金銭的にも、社会的にも、精神的にも傷つける。他人の手によって愛する者が失われたという体験は衝撃的であり、病気や事故による死亡よりも受容が困難となる可能性がある。自分の愛する者の命を奪おうと決心した者がいるゆえに、遺族にとっては、理解や安堵をもたらしてくれる即答はない。介護者として私達は、遺された者のために、悲嘆の旅を開始することのできる安全な環境を作り出すことによって、信頼を再構築する作業に着手できる。どのように支援するか？ 死別反応、悲嘆の兆候およびトラウマについて学習し、どのように刑事司法制度を切り抜けていくかを学ぶ。

ドメスティックバイオレンス研修シリーズ

改訂版

ドメスティックバイオレンス入門

開講日：3月2日または5月12日

講師：TBD

開講時間：9:00~4:30

ドメスティックバイオレンスは、世界中で女性や少女に対する最大の人権侵害になっているといわれている。推定で12秒に1回、この国の中で女性1名が暴行を受けている。また、女性に対する殺人の大多数は親しいパートナーによるものであると推定される。この対話型セミナーは、参加者に対してドメスティックバイオレンスの実用的定義を紹介し、同時に、親しいパートナーによる暴力の力学、俗説および文化的な通念を探求する。参加者は、サバイバーに共通する反応を具体的に特定しながら、ドメスティックバイオレンスが被害者に及ぼす影響についても学ぶ。親しいパートナーによる虐待経験がほとんどないか、全く無い職員は、このセミナーに出席することを強く推奨される。また、ドメスティックバイオレンス被害者のためのプログラムに携わっている管理/事業担当職員もこのセミナーに出席することを強く推奨される。

ストーカー行為の力学

開講日：3月30日

講師：Michelle Archer

開講時間：9:00~4:30

毎年およそ140万人の女性と50万人の男性がストーカー被害にあっている。ドメスティックバイオレンスから生じたストーカー行為が最も一般的であり、潜在的に最も危険である。この研修は、ストーカー行為の被害者をどのように支援し、カウンセリングするかを学習する専門家を手助けする。参加者は、ストーカー行為を取り巻く課題をどのように概念化するか、また、クライアントにとってより優れた支援者兼カウンセラーとなるにはこの情報をどのように活用すればよいかを学習する。この科目で履修する対象は以下のとおり。識別、法的義務、権利擁護、安全性の問題、ストーカー行為の種類、トラウマ反応。これは、次のプログラム DVPP、ホットライン、コミュニティオフィス、法廷およびDV支援 に携わっている、今学期が研修履修の2学期目となる直接的支援サービス担当の新規職員の必修科目である。このコースは、直接的支援サービス担当職員全員が是非履修すべき科目である。

改訂版

ドメスティックバイオレンスが子供に及ぼす影響

開講日：4月5日

講師：Tisa Joyner Nance

事前必修科目：ドメスティックバイオレンス入門

開講時間：9:00~4:30

ドメスティックバイオレンスは、広く認められている社会問題となった。が、この全国規模の問題の被害者は女性だけではない。ドメスティックバイオレンスを目撃している子供達も、*間接的被害者*かもしれないが、同時に彼らは*被害を受けやすい弱い被害者*でもある。アメリカ合衆国内で推定 330 万 ~ 1000 万人の子供達が毎年ドメスティックバイオレンスにさらされる危険がある。子供達にドメスティックバイオレンスが与える影響についての知識と理解の充実が、家族を全人的に支える介入計画作成には不可欠だ。ドメスティックバイオレンスにさらされた者に共通する反応と、ドメスティックバイオレンスが子供達に与える認知・行動・感情面での影響を学習しよう。何歳の時点であれ過去にドメスティックバイオレンスに遭遇したクライアントに働きかけるのであれば、あるいは、ドメスティックバイオレンスにクライアントが現在さらされているのであれば、このコースを是非受講すべきだ。

ドメスティックバイオレンスに対する刑事司法制度の対応

開講日：3月21日

講師：Maureen Curtis

事前必修科目：ドメスティックバイオレンス入門

開講時間：9:00~4:30

虐待を受けた女性は多くの場合刑事司法制度に訴える。被害者が確実にこの制度を活用できるようにするには、支援する専門家自身もまず、この制度を十分に理解しておく必要がある。この研修は、NYPD(ニューヨーク市警察)の方針と刑事裁判所と家庭裁判所において利用可能な選択肢に関する一般的情報を提供する。また、アドボカシースキル(権利擁護能力を向上させるスキル)が考察され、実践される。このコースは、シェルター、法廷およびコミュニティオフィスでドメスティックバイオレンス被害者に対応している支援者にとって、是非履修すべき科目である。

ドメスティックバイオレンス被害者向け住宅に関する選択肢

開講日：4月25日

講師：Maureen Curtis, Valerie Mercade, Jennifer Cushman

事前必修科目：ドメスティックバイオレンス入門

開講時間：9:00~4:30

多くのドメスティックバイオレンス被害者は、手ごろで安全な住まいが、家庭内の暴力から逃れるために最初に必要となると考えている。この研修は、ドメスティックバイオレンス被害者が助成金支給を通じて低負担で入居できる住居に関して主な情報を提供する。ニューヨーク市の Housing Authority, Section 8 の Jiggetts(家賃補助制度)申請と移動プロセス、ならびに、助成金申請資格に関する手続きと基準を考察する。研修参加者は、複雑になりがちな住宅供給制度を活用しなければならないドメスティックバイオレンスのクライアントをカブける方法を身につける。この科目は、住居問題に関してクライアントと対処する者全員にとって不可欠である。

未成年者の恋人間暴力

開講日：6月13日

講師：Darlene Post

事前必修科目：ドメスティックバイオレンス入門

開講時間：9:00~4:30

高校・大学に通う年齢層の推定で最高3分の1が、恋人または交際相手からの暴力を体験している。全てのレイプの50%以上が、未成年者から青年期の若年層に対するものであり、その大多数は、知人や交際相手による被害である。この研修は、親しいパートナーによる暴力のサイクルに捕らわれている少年少女や若年層の心理的ニーズに対処している。この科目はまた、支援制度の評価、安全対策および法的救済策も含め、少年少女や若年層に特有の介入計画を多数紹介している。親しいパートナーによる暴力の被害者である少年少女や若年層に対処している職員は、是非履修していただきたい。

家族法および移民法における法律上の権利と救済策

開講日：5月18日

講師：Anna Maria Diamanti, Esq. & Lynn H. Neugebauer, Esq.

事前必修科目：ドメスティックバイオレンス入門

開講時間：9:00~4:30

法的制度を通じて救済を求めることは多くの場合、犯罪、虐待、拷問およびドメスティックバイオレンスの被害者にとって不可欠であるが、どのような救済策があり、これらを利用するにはどうすればよいかに関して多くの曖昧な点がある。研修参加者は、犯罪や虐待の被害者が利用可能な法的サービスについて学習する。この講座は、サービス提供者に

対して、次のような問いに対する答えを提供してくれる。「私のクライアントが不法滞在者である場合には、どうすればよいか?」「私のクライアントがドメスティックバイオレンスの被害者であり、しかも、その虐待者自身が出入国管理書類の保証人である場合は、どうすればよいか?」など。この科目は、ドメスティックバイオレンスのクライアントに支援サービスを提供する職員にとって不可欠な研修である。

職場での支援

管理能力の研修

開講日：3月1日

講師：Joseph Posner, Lauren Pallies

開講時間：9:00~4:30

各組織/機関のバックオフィスをうまく切り回すことは、特に新しい職員にとって混乱の多い作業かもしれない。この1日間を費やす研修は、監督者や管理業務担当職員のための管理能力基盤を提供するために準備されたものである。また、これは、ベストプラクティスを共有し、他の部署やプログラムに所属する同僚から学ぶチャンスも提供する。この研修では、次のテーマを取り上げる。組織図、勘定科目一覧表、および、支払勘定・購買作業・人件費・施設/資産管理・情報通信(IT)・人的資源(HR)および法務のに関する業務。この研修は、新しい監督者と管理担当職員の必修科目である。

共感疲労：バランスの維持

開講日：2月24日

講師：Julie Cooper

開講時間：9:00~12:30

トラウマの問題に対処する際に、クライアントと支援サービス提供者の双方の心と体の中で何が起きているかを知ることが重要である。トラウマの影響は、感情、心、体、精神 多くのレベルで発生する。私達がクライアントの話の証人となる際に、これら(感情、心、体、精神)の領域は私達の内部で大きな影響を受けやすく、こうした領域は、私達自身の感情や人間関係、人生に影響を及ぼす可能性がある。どうすれば、自分のバランスを失わずに、耳を傾けることができるだろうか？ 個人で、また、集団で、教訓的方法と実験的方法の双方を使用して、私達はこのコースを通じて共感疲労(別名：代理受傷または代理性心的外傷)の力学を探求する。このワークショップは、支援サービス提供者が他人の世話をしながらも同時に自分自身を大事にすることができるように、知識と実践的スキルを提供する。**体を締め付けない着心地の良い服装で、タオル1枚を持参の上、ご参加ください。**

新講座

対立管理入門

開講日：5月17日

講師：Alan Gross, Lisa Cohen, Brad Heckman, Gene Johnson & Sam Slosberg

事前必修科目：多文化理解能力

開講時間：9:00~12:30

対立は、適切に管理されれば、問題解決や前進へのチャンスを生み出す可能性がある。が、適切なスキルがなければ、対立は人間関係を損ない、職場環境を有害なものに変え、暴力にまで発展する可能性がある。参加者は、対立をうまく管理する手法(コミュニケーションスキル、建設的フィードバック手法、対立状況に潜む動機づけや関心事を理解するための方策)を学習する。研修参加者は、職員間の協力関係を推進し、監督者と職員間の建設的フィードバックを向上させ、クライアントに対処する際に怒りや強い感情を効果的に発散させるために、こうしたスキルを活用できるようになるだろう。この科目においては、講師陣が、「調停プログラムが、Safe Horizon の職員とクライアントにとって、どのようにして有効な紛争解決手段となりうるか」についても論じる。

SAFE HORIZON 紹介

開講日：1月30日、3月27日又は5月30日

講師：Kristen Illes およびゲスト講師陣

開講時間：9:00~4:30

この研修の主な目的は、全ての新人職員に Safe Horizon の責務・哲学・プログラム・特定の手順を確認させることである。また、プロ意識という考え方と、被害に対する感受性の問題も探求される。さらに、Safe Horizon のリソースディレクターやその他の内部リソースが、プログラム内の協力関係をさらに円滑するために検討される。この研修は、新人職員全員が、採用後可能なかぎり早期に履修しなければならない必修科目である。

新講座

私達の家：レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダーにおける家庭内暴力を理解する

開講日：4月19日

講師：Illana Kramer

開講時間：9:00~12:30

このコースの目的は、レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー層のクライアントや同性愛者のクライアントに対処する上での感受性と実践的スキルを養うべく、参加者を訓練することであり、また、標準外のドメスティックバイオレンスのサバイバーに対処する際の課題に関して幅広い協議の場を提供することである。「標準外」という用語を通じて、異性関係において女性を主に被害者とみなす社会における社会的/文化的モ

デルを一方で念頭に置きながら、支援対象にドメスティックバイオレンスの被害者男性も含めることができる。このワークショップは、職員の能力を養い、こうした「標準外」の層に対処する力を培う。この科目は、職員にあらゆるクライアントに対してきめ細かく対応することを教えることによって、Safe Horizon の提供するサービスの強化に貢献する。

職場の多様性

開講日：3月8日

講師：Tisa Joyner Nance

開講時間：9:00~4:30

非対立的な状況であれば、専門家には、多様性のさまざまな側面（知識、理解、受け入れと尊重）を探求する機会がある。この対話型研修の結果、職員は、固定観念の影響を抑制し、差異点に関する正確なデータを収集し、行為が同僚に与える影響を自覚し、かつ、クライアントに対するサービスの総体的な有効性を向上させることができるだろう。この研修は、新しい監督者と管理/事業担当職員の必修科目である。またこの科目は、Safe Horizon 職員全員の履修が強く推奨されている。

コンピュータ研修

コンピュータ研修の規模は非常に小さい。どのコースも定員 12 名であり、**定員一杯の参加が求められる**。貴方がコンピュータ研修の履修を登録した場合には、貴方は自分の出席枠に責任を持ち、急用のために研修に出席できなくなった場合には、自分の代わりに出席できる者を見つけて、この者を代わりに受講させる必要がある。**欠席すると、貴方のプログラムにコース受講料の\$75 が請求される**。コンピュータ研修科目は、50 Court St.にある Safe Horizon Conference Center で開講される。

マイクロソフト EXCEL(入門)

開講日：5月10日

開講時間：9:00~4:30

この一日間の入門コースは、EXCEL 知識が最小限で、管理業務遂行のためにこの講座を受講しなければならない者向けである。受講生は、基本のワークシートスキルと、ワークシート中のデータ処理方法を身につける。このコースを受講するには、コンピュータに関する基礎知識(基本的なマウスとキーボード操作、ポイント・クリック・ダブルクリック操作)が必要となる。

マイクロソフト EXCEL(中級)

開講日：6月15日

開講時間：9:00~4:30

この一日間の入門コースは、EXCEL を熟知しており、管理業務遂行で EXCEL を使用する者向けである。この科目の内容は、それら既存のスキルを踏まえたものである。この科目で扱うテーマは、リスト、多数の機能、フォーマット化、ワークシートのリンクの扱いである。

マイクロソフト WORD(入門)

開講日：2月23日

開講時間：9:00~4:30

この一日間の入門コースの狙いは、受講者に、Microsoft Word 2003 使用開始に必要な基本スキルを教えることである。受講生は、文書を開く、文書の編集、文書間の移動などの多数の機能を学習する。このコースの受講には、コンピュータに関する基礎知識(基本的なマウスとキーボード操作、ポイント・クリック・ダブルクリック操作)が必要となる。

マイクロソフト WORD(中級)

開講日：3月29日

開講時間：9:00~4:30

この一日間の中級コースは、Microsoft Word を熟知した者向けである。この科目は、中級から上級レベルの機能を概説する。ここでは次のテーマを扱う。ページ設定、表の作成とフォーマット化、文書のマーク付けと移動の上級レベル手法など。

研修講師の紹介

Kristen Illes は、Safe Horizon の Training and Staff Development Division の Associate Vice President である。Marist College で臨床心理学の修士号を取得。ドメスティックバイオレンスと危機対応に関して専門家向けおよび地域社会において教師を務めており、成人と児童へのカウンセリングにおける長年の体験を講座に生かしている。

Tisa Joyner Nance は、Safe Horizon の Training and Staff Development Division に所属する Training and Staff Development Manager である。Administration for Children Services の児童福祉の専門家として、また、主に青少年犯罪者を扱う NYC Department of Probation の保護観察官として社会奉仕経験を長年積んできた。Tisa は、ワークショップや研修をさまざまな領域で行ってきた。John Jay College of Criminal Justice の刑事司法政策を専攻して行政学の修士号を取得。

Denise Briales は、Brooklyn Child Advocacy Center のカウンセラー。20 年以上にわたって社会福祉分野に従事。Denise は、Safe Horizon 職員、地元高校、地域組織向けの研修やワークショップを担当してきた。また、さまざまな病院におけるドメスティックバイオレンスに関する対応手順の改良にも貢献している。Safe Horizon の Internal Review Board メンバーでもある。

Florrie Burke, M.Ed., MA, LMFT は、ニューヨーク市内の Safe Horizon の International Programs の Senior Director を務めており、そこで、人身売買禁止と、拷問や難民体験によるトラウマを抱えたサバイバー向けの *Solace Program* の監督業務に携わっている。Burke は国の内外で、トラウマ、拷問、人身売買をテーマとして研修活動、コンサルティング、プレゼンテーションを行っている。彼女は Human Rights Clinic of Doctors of the World USA の訓練者かつ指南役であり、人身売買や奴隷化の被害者と連携し、全国で地域密着型研修を展開する被害者支援サービス提供者や弁護士、権利擁護者の全国ネットワークである Freedom Network USA 創設メンバーのひとりである。

Lisa Grace Cohen は、全ての調停・仲裁研修と Safe Horizon Mediation プログラム向け実習制度のコーディネーター役を務め、幅広い地域社会向けの支援活動を実施している。経験豊かな調停者兼訓練者である Lisa は、Columbia University Law School で J.D. を取得し、コロンビア大学で学士号を取得した。Skadden, Arps, Slate, Meagher & Flom LLP の法律事務所でも共同事業者として弁護士を務めた。Safe Horizon Mediation プログラムに参加する前は、CBS Corporation の Associate General Counsel を務めていた。

Maureen Curtis は、Safe Horizon Domestic Violence Police Program (DVPP)のディレクターである。Safe Horizon での 15 年間の勤務を通じ、彼女は警察関係者、地域組織及び Safe Horizon 職員を対象として、ドメスティックバイオレンス被害者への刑事司法の対応、ドメスティックバイオレンスに関する政策と手続き等をテーマに研修を行ってきた。Maureen は、Hunter College で公衆衛生/地域保健教育と社会福祉事業の修士号を取得している。

Juli Cooper, MA, LMT は、Healing Touch Project のディレクターである。Safe Horizon のコンサルタントとして、Juli は、9/11 テロ、ドメスティックバイオレンスおよび拷問に対処する支援サービス提供者とクライアント向けにボディマインドプログラムを作成してきた。また、ワークショップを奨励し、United Services Group, American Red Cross Task Force, Police Organization Providing Peer Assistance および NYC の公立学校などの機関に実践的サービスを提供してきた。Juli は、NYU International Trauma Studies program の卒業生であり、サイコドラマ（心理劇）とドラマセラピーの分野においても更に実習を積んでいる。

Jennifer Cushman は、Domestic Violence Police Program の Manhattan Borough Manager であり、以前は Police Service Area 9 のプログラム向けケースマネージャーであった。彼女は Indiana University を卒業し、ここでジェンダー研究の学士号を取得した。Safe Horizon に加わる前は、彼女はドメスティックバイオレンスのシェルターと DV ホットラインでボランティア活動をし、女性問題に関して学生活動で活躍し、ジェンダーに関する学生の討論グループ設立に協力した。現在、彼女は住居に関する選択肢と、ドメスティックバイオレンスに対する刑事司法の対応について、研修を実施している。

Anna Maria Diamanti は、Safe Horizon の Domestic Violence Law Project の監督弁護士である。彼女は 2002 年 4 月以降 DVLP に参加しており、家族法の関連する事例でクライアントの代理を務め、また、若い職員を監督している。Safe Horizon に勤務する前は、彼女は Legal Aid でスタッフ弁護士を務め、窮乏したクライアントに一般的な司法サービスを提供していた。彼女は、Georgetown University Law Center の卒業生であり、虐待された女性の法的権利に関して地域密着型プログラムにおいて、日常的に研修を提供している。

Carrie Epstein は、Safe Horizon の Child Trauma Programs と Clinical Support のシニアディレクターである。彼女は University of Pennsylvania で学士号を取得し、コロンビア大学の Social Work で修士号を取得した。彼女は、15 年以上もトラウマに晒されてきた子供や若年層向けの新しいプログラムを査定・処理・開発している。彼女は Columbia University School of Social Work、New York University School of Social Work、Hunter

University School of Social Work および Fordham University School of Social Work で Adjunct Professor の職を得ている。

Alan E. Gross, PH.D. は、Safe Horizon, Mediation Program の Special Projects Coordinator である。彼は、ニューヨーク市全域の現場で 15 年間、調停と仲裁を手がけ、Safe Horizon の 9/11 Mediation Program を管理運営してきた。彼は、多数の地域密着型組織、行政機関、学校および社会奉仕サービス提供者に、紛争解決に関する研修を提供してきた。彼は、American Psychological Association に対するオンブズマンとして、また、New York Mayor's Action Center と NYC Office of the Public Advocate で活動している。彼は以前、University of Maryland で Psychology Professor と Department Chair を務めた。

Brad Heckman は、Safe Horizon の Mediation Program のシニアディレクターである。Safe Horizon に参加する前は、彼は、世界中の平和的な紛争管理を推奨する NPO 組織である Partners for Democratic Change の International Division のディレクターを務めていた。彼は、25 カ国以上において紛争解決イニシアティブを確立し、管理してきた。ここ 10 年間は、彼は、東欧および旧ソ連において初の地域密着型および商業的な調停・仲裁サービスを確立しようと努めた。彼は、San Diego Mediation Center で調停者としての訓練を受けた経験があり、Johns Hopkins University で国際関係の M.A を取得した。

Kimmi Marion Herring は、Families of Homicide Victims プログラムのマネージャーである。彼女は、社会福祉機関、健康管理の専門家および刑事司法関係者向けに、co-victim にとっての死別、親や兄弟姉妹の悲嘆などの課題に関するセミナー開催を促進している。彼女は Cheyney University of Pennsylvania で Social Relations の学士号を取得した。

Gene A. Johnson, Jr. は、Manhattan Mediation Program のディレクターである。経験豊かな調停者兼訓練者である Gene は、Virginia Dispute Resolution Services の Supreme Court、および、全国規模の代替的紛争解決の会社である JAMS で実践活動をしてきた。彼は定期的に、州全域と全国規模で、紛争解決に関わる幅広い課題をテーマに、紛争解決に関する会議を開催している。Gene は多数の市や州で紛争解決委員会の一員として働き、Greater New York の Association for Conflict Resolution の役員会 (Board of Directors) のメンバーを務めている。州に認定された調停活動の訓練者 (mediation trainer) である Gene は、Safe Horizon のボランティア調停者を訓練し、彼らに助言している。

Illana Beth Kramer は、Family Justice Center の Safe Horizon 向け Case Manager である。彼女は、ドメスティックバイオレンス分野で過去 5 年間働いてきた。Safe Horizon に

参加する前は、ゲイやレズビアン層に対応してきた。Illana は、Cornell University の Human Development で学士号、New York University で Gender Politics の修士号を取得している。また、ゲイ・レズビアン・バイセクシュアル・トランスジェンダー層におけるドメスティックバイオレンス研究のために市全域を対象とする LGBTTQ IntraAgency Taskforce のメンバーも務めている。

Valerie Mercado は、現在 Safe Horizon で Emergency Transfer Program (ETP)のコーディネーターを務めている。彼女は ETP で 5 年間働いており、Safe Horizon と *New York City Housing Authority (NYCHA)*との間で連絡窓口を務めている。彼女は ETP でのクライアント権利擁護者として 2000 年に活動を開始し、共同住宅の役員 (Apartment officer) と共に NYCHA 内で犯罪被害者を支援している。彼女は、2002 年にアシスタントコーディネーターに昇進するまでの間クライアント権利擁護者として 2 年間働いてきた。アシスタントコーディネーターとして、彼女は、クライアント権利擁護者を監督し、体験学習や困難な事例のトラブルシューティングについてコーディネーターを手助けした。2003 年に Valerie は ETP のコーディネーターに昇進した。彼女は、John Jay College で Deviant Behavior(逸脱行動)と Social Control(社会統制)の学士号を取得している。

Lynn Neugebauer は、Safe Horizon の Immigration Law Project (ILP)の監督弁護士である。彼女は、1997 年以降の ILP で働いてきた。1988 年以降、移民弁護士を開業してきた。彼女は Brooklyn Law School の卒業生である。

Lauren Pallies は、Safe Horizon の Child Advocacy Centers、Evaluation and Research Department と Emergency Planning and Preparedness Department の Administrative Director である。Lauren はまた、Safe Horizon の緊急クライアント食糧プログラム (emergency client food program)も運営管理している。Lauren は、New York University で科学の学士号、また、コロンビア大学で特に Policy Analysis(政策分析)を専攻して Master of Social Work を取得した。

Joseph Posner は、Safe Horizon に 2002 年に加わり、Safe Horizon の HRIS データベースを運営管理している。彼はまた、HR Team on Legal Compliance, Policy & Procedure 開発、Organizational Development および Compensation and Benefits イニシアティブと非常に密接に連携している。Joe は、Senior Professional in Human Resources (SPHR)と、Human Resources Certification Institute とを識別してした。また、Joe は、Business Consultants International による認定を受けた LIFO Trainer である。彼は、SHRM Academy から Strategic Planning(戦略的企画)の分野において複数の資格を取得しており、SUNY Binghamton で心理学と哲学の両方の修士号を取得している。Joe は現在、John Jay

College of Criminal Justice で修士号取得を目指している。

Darlene Post CSW は、Herbert H. Lehman High School における Safe Horizon の Relationship Abuse Prevention Program(RAPP)のコーディネーターである。彼女は、複数の小委員会に、若年層のデートバイオレンスに関する専門家として参加した。また、“God Squad”(番組名)、Bronx 12 News, UPN, Channel 9 News にも出演した。Darlene は、青少年の体験に関する幅広い課題に関して個人カウンセリングやグループカウンセリングを実施したり、ワークショップを開催して、公立学校や地域密着型組織において青少年や子供達に対応してきた。彼女は Hunter College で Social Work(社会福祉)の修士号を取得している。

Sam Slosberg は Safe Horizon の Brooklyn Mediation Program のディレクターである。Safe Horizon に参加する前に Sam は、ワシントン D.C.の Equal Rights Center で Civil Rights Coordinator(公民権コーディネーター)を務め、マイノリティの居住権を擁護していた。さらに、囚人向けに対立管理の研修を行い、市民集会の開催を円滑化し、学校内での紛争評価(対立評価)を実施し、地域社会のさまざまな対立や紛争を調停してきた。彼は、2年間ホンジュラスで Peace Corps に勤務し、George Mason University の Institute for Conflict Analysis and Resolution(ICAR)で修士号を取得した。

Corey Tax は Safe Horizon ホットラインの Clinical Coordinator(臨床部門コーディネーター)である。彼女はホットラインの職員向けに、研修とクリニカルスーパービジョンを準備・実施している。またホットライン向けにレイプ/性的暴力に関する支援サービスを監視している。Corey は、青少年、地域密着型組織および Safe Horizon 職員に対して、性的暴力、児童性的虐待のサバイバーへの働きかけ、多様性、身体イメージ、危機介入およびドメスティックバイオレンスなどの多様なテーマについて教えている。Corey は、カリフォルニア大学サンタクルーズ校で教育の修士号を取得している。

Vilma Torres は Bronx, Manhattan および Queens の Families of Homicide Victims Programs のディレクターである。彼女は社会福祉サービス機関、医療従事者および刑事司法分野の代表者向けに、死別、悲嘆、権利擁護などの問題についてセミナーを開催している。Vilma は、Hunter College で MSW を取得している、認定を受けたソーシャルワーカーである。

Christine Vargo は Staten Island Community Programs 内の Intensive Case Manager/Rape Survivor Advocate Program Coordinator として Safe Horizon Rape Crisis Program(RCP)のために働いている。彼女は、5年近い間、セクシュアルハラスメントを止

めさせる運動に参加しており、Sexual Assault Awareness Month (SAAM)(性暴力被害を認識する月間)のための全市計画委員会と、Staten Island を対象とする Sexual Assault Task Force において、Safe Horizon 代表を務めている。また、彼女は、Hunter College School of Social Work で MSW 取得を目指している。

日程カレンダー

2006 年春

2006 年 2 月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 Word 入門	24 共感疲労	25
26	27	28 児童虐待				

2006 年 3 月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
			1 管理業務	2 DV 入門	3	4
5	6	7	8 職場の 多様性	9	10	11
12	13	14	15	16	17 HIV 守秘義務	18
19	20	21 CJRS	22	23	24	25
26	27 SH 入門	28	29 Word 中級	30	31	

2006年4月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
						1
2	3	4	5 児童への DV	6	7	8
9	10	11 児童への 性的虐待	12	13 人身売買	14	15
16	17	18	19 私達の家	20 成人 サイバー の対処	21	22
23	24	25 住居	26 CTG1 日目	27 CTG2 日目	28	29
30						

2006年5月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
	1	2	3	4	5	6
7	8	9 児童虐待	10 EXCEL 入門	11	12 DV 入門	13
14	15	16	17 対立管理 入門	18 法的権利と 救済策	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30 Safe Horizon 紹介	31 多文化 理解能力			

2006年6月

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
				1	2	3
4	5	6 殺人の遺族 への対処	7	8 自殺介入	9	10
11	12	13 未成年の 恋人間暴力	14	15 EXCEL 中級	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29 支援スキル 1日目	30 支援スキル 2日目	